

TICAD V 行動計画の概要

●行動計画は、宣言に基づき、TICAD参加者（日本、アフリカ、国際機関、その他ドナー国等）が2013年－17年の5年間に
おいて重視すべき事項と具体的行動について合意した内容を
記載した文書。

●TICAD参加者は、行動計画に対応した支援策を同計画の別
表に記載することが期待されている。

1 注目すべき点

（1）民間投資の役割を強調。特にインフラ、農業、製造業、観光業への投資促進を重視し、雇用創出と技術移転の重要性を指摘。

（2）基礎教育に加え、ポスト基礎教育（職業訓練及び高等教育等）の強化を通じ、質の高い産業人材を育成することを重視。

（3）バリューチェーンの構築、市場志向型農業の普及を通じ、自給自足の小規模農業から商業的農業経営への移行を目指すことを強調。

（4）低炭素成長、気候変動への適応、防災の主流化を通じて持続可能かつ強靱な成長を促進

（5）ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）に向けた保健システム強化、食料安全保障のみならず栄養確保の重要性を指摘。

（6）平和と安定にかかるアフリカ自身の取組を重視。テロ・海賊等への対処やグッド・ガバナンスの促進の重要性を指摘。

2 留意点

（1）あらゆる開発課題への取組において女性と若者への配慮を行う必要性と人間の安全保障の重要性が強調された。

（2）アフリカ側がより主体的な役割を果たせるようフォローアップ・メカニズムの見直しを行う旨が盛り込まれた。

（3）各分野毎に進捗状況が数値で示せるような定量的な達成目標が盛り込まれた。

（注）行動計画の構成要素一覧別添